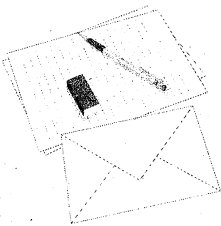


伊万里でナン狩り 佐賀市 小宮 チエ子 75

手鏡

姉の娘と孫と私の4人で、伊万里市の「大川三世代」観光農園にナン狩りに行きました。広々としたハウスのナン畑で、1個1個手間をかけて無袋栽培をしてあります。私たちにおいしいナンを食べてもらいたいと思って、手間と暇をかけている様子が見て取れました。帰ったら主人と一緒に食べたいと思います。知り合いに少しおすそ分けをします。

ナンを取る時に孫が「おばちゃん、取れるね」と言っていて、高い所の大きなナンを取ってくれました。私が背が小さいので心配してくれず。帰りは「重いから、私が持つてあげるから大丈夫」と気遣ってくれます。



ナン狩りの後は食事に行きました。食べ終わると姉の娘がさっと立ち、支払いを私の分まで済ませてくれました。私と姉は何もしないで任せきり。若い者のように体が動かなくなり、迷惑ばかりかけます。帰りに厳木の道の駅に寄り、それから武雄市山内町のお菓子屋さんへ寄ってお土産を買って帰りました。

一日楽しんで過ごさせてもらいました。ありがとうございます。姉の孫たちは「おばちゃん、おばちゃん」と言っていて、どこでも私を連れて行ってくれます。ありがとうございます。「今度はおじちゃんも一緒に行こうね」と言ってくれました。姉の孫たちへ感謝

わかもの

アート ミステリーに魅了されて以て来絵画に

のめり込み、絵を描くようになった。キャンバスには既に10人の人物を鉛筆で柔らかに描いた。額を着せようと「はだいろ」の画材に手を伸ばしたまさにその時、その手が止まった。「肌色」が、私に正体を見破らせないとでも言うように、物影に隠れたのだ。意地悪なその色は、一体何色だったろうか。

肌色

龍谷高2年 松信 明莉 16

ば、そこには「肌色」という名で肌の色をしたそれがあつた。指の先で手に取られるのを待つ色鉛筆にも、「はだいろ」とある。揺らぐことのなかった認識をどれだけ信じ直そうとして、とある疑問が胸中に居座り続ける。果たして肌色は、1通りなのか、と。赤みや黄みを均等に帯びたあの色だけを、肌色と言いつのか、と。自分の感覚が突如として生み出した疑問に、首をぶんぶん左右に振りたい。それは間違っている、と。

黄色人種と呼ばれる日本人の肌にも、サーファーたちの波しぶきの似合う小麦色や、あでやかな淡黄色、血色のよい明るみを含むものなどさまざまである。世界には白人と称される色も、黒人と称される色もある。遣伝子により雪のごとく純白の肌をしている者もいる。微妙な差異が個々に見られ、それ故に肌の色は底が尽きること知らないはずだ。

それらを全てひとくくりに「肌色」と呼んできたのは、紛れもなく私自身であり、私の育った環境である。肌がどのような色を持つのかという問いに対して横断解答などは決して存在せず、あつてはならない。それにも関わらず、ちりばめられている「肌色」というネーミングは、肌はかくあるべきだという主張を重ねる、やがて意識の外側に固定概念という気難しい植物になり、今や私の心に深く、広範囲にわたってその根を張り巡らしていた。どれだけの力を込めても、抜けられないかもしれない。抜こうとしてわずかに根がちぎれて、心にとどまるかもしれない。しかし、私はきれいに引っこ抜いてやろうと思つた。キャンバス上の10人を前に、私は10色の色鉛筆を手にとった。

「パーキングパーミット」

知っていますか？

佐賀市大和町 辻真由美 57

公共施設やショッピングセンター、病院などにある身障者用駐車場「パーキングパーミット」をご存知の方はどのくらいおられるのでしょうか？ 私も内部障害の難病と身体の障害などで歩くことに支障があり、利用させてもらっています。でも、残念なことにパーキングパーミットの利用証を持たない方の駐車がいまだに多いよう

ひろば 読者の声

いえ、いえ、違います。パーキングパーミット制度は、主に体に障害のある方、難病患者の方、妊産婦の方が肉体的歩行困難な方、

利用証を交付してもらえます。す。高齢者だから止めてもよいと言えは、かなりの方が利用してしまつてはならないでしょうか？ 障害のある方以外の方が止めても法律違反ではないのでしょうか？ 本当に必要とされている方が駐車できなくて困っています。健常者の方は、マナーを守ってほしいもの

「そのよこ」
武雄市北方町 松林 智聖 78
9月27日付「ひろば」欄の「ホッとする方言」を興味深く読ませ



ていただきました。その中の「よに」という言葉について私の住域では現在でもたまにする言葉ですので、紹介す。

具体例を示しますと、たゞ茶わんにご飯をよそうようなどで、よそい慣れない子どもなうっかり大盛りにしてしまつた、年長の方が「そのよに、さいつがしい、まちつと、へんぎ、みたんなか」とおっしゃることがあります。つまり、「よに」に、いっぱい盛ることないで、もう少し減らさないと、見た目が良くないよ」との

おとこの星

「おとこの星」は家にいます。

「おんなら、今からさつぼう。よかやい？」
君は佐賀弁を使う。僕も賀弁で応じる。「あさん、は「あなたさま」の意。」つぼう、家に「ようし、おつ」「来らい来らい、」う来らい」「ようして」「何もしないで」。

佐賀弁が通じるというだけで仲が良い証明か。しばらく待っていると、K君は現れる。自動ドアの音がする。玄関に出て行く。「おい、彼の大きな声があるこちらも大きな声で「おい」と言う。K君は紙袋を手提げている。「昨日釣りに行って来たたい。ちまちちのキャンパチの釣